

9 家庭や職場における子育て環境の向上

現状と課題

◇ 子育てへの保護者同士の協力の必要性

市民意向調査の回答者は母親が8～9割を占め、さらに、主な保育者が母親であるという回答が約97～98%となっています。

また、市民意向調査によると、子育ての不安や負担感は、配偶者のかかわりが協力的であるほど少ない傾向となっていますが、就学前の子どもを持つ保護者の10.5%、小学生の子どもを持つ保護者の16.3%が「協力的でない」もしくは「あまり協力的でない」と回答しています（図表4-2-53、図表4-2-54）。

市では、職場・地域・家庭などあらゆる場面において男女が互いに尊重し合い、共にいきいきと輝くまちをつくっていくことを目指して、平成11年11月に「男女共同参画都市宣言」を行いました（図表4-2-55）。

子育ての不安や負担感を軽減するため、様々な機会を通じて保護者が互いに協力して子育てを行うよう啓発していくことが重要です。

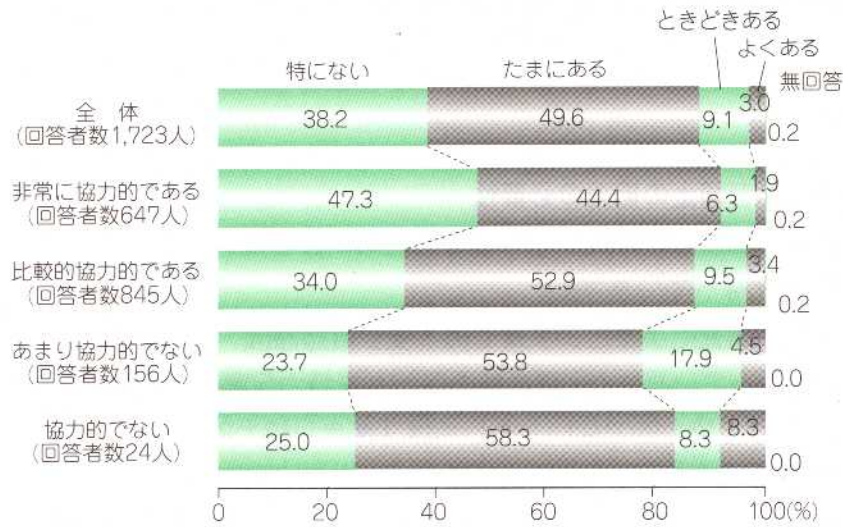
◇ 就業環境の整備と働き方の見直し

「雇用構造調査」によると、1週間に残業をした人の割合は正社員の61.6%、非正社員の37.2%に上り、特に男性の残業が長時間化しています（図表4-2-56）。

一方、市民意向調査によると、子育てと仕事の両立をしやすくするための職場環境整備への希望として、「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」が最も多いほか、職場における理解の広まりや再雇用制度など各種制度の導入・定着、企業内託児所の整備などを求めています（図表4-2-57）。

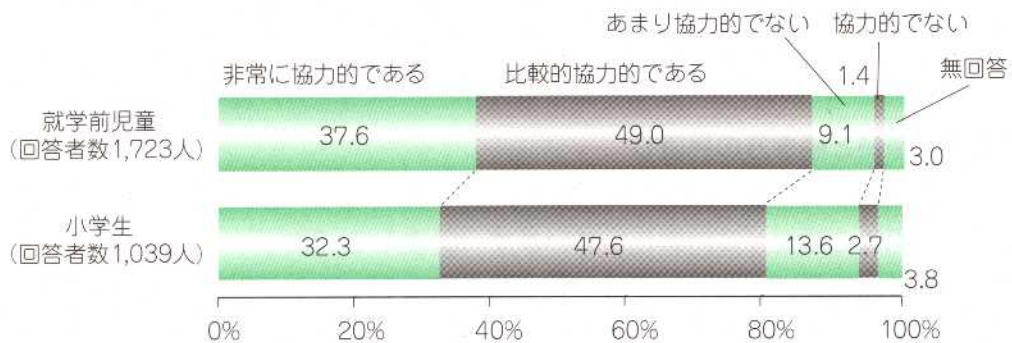
女性の就業者数が増加しているなか、家庭における子育てに就業環境が及ぼす影響が大きくなっており、加えて、保護者が互いに協力して子育てを行うためには、男性を含めて家庭と仕事のバランスがとれた生活が求められます。また、次世代育成支援対策推進法では、事業主（企業等）も行動計画を策定することとなっており、ともに次世代育成支援に取り組む方向が示されています。長時間労働の解消や各種の支援制度の充実と運用の円滑化など就業環境の整備を進めることが必要です。事業主（企業等）への働きかけなど、就業環境の整備と働き方の見直しの推進が課題となっています。

図表4-2-53 子育てが嫌になること（配偶者の子育てへのかかわり別 就学前児童）



資料：府中市子育て支援に関する市民意向調査（平成16年1月）

図表4-2-54 配偶者の子育てへのかかわり



資料：府中市子育て支援に関する市民意向調査（平成16年1月）

図表4-2-55 府中市男女共同参画都市宣言

わたしたちは、歴史にはぐくまれたふるさと府中を誇りとし、性別を超え、世代を超えて、互いに人として尊重し合い、共にいきいきと輝くまちをつくり続けるために「男女共同参画都市」を宣言します。

- 1 わたしたちは 男女が共に 社会のあらゆる分野に平等に参画するまちをつくります
- 1 わたしたちは 一人ひとりが自立し 認め合い 心豊かに暮らせるまちをつくります
- 1 わたしたちは 職場・地域・家庭において 男女が共に責任を分かち合うまちをつくります
- 1 わたしたちは 国際社会の一員として 平和を愛するまちをつくります

平成11年11月3日

府中市

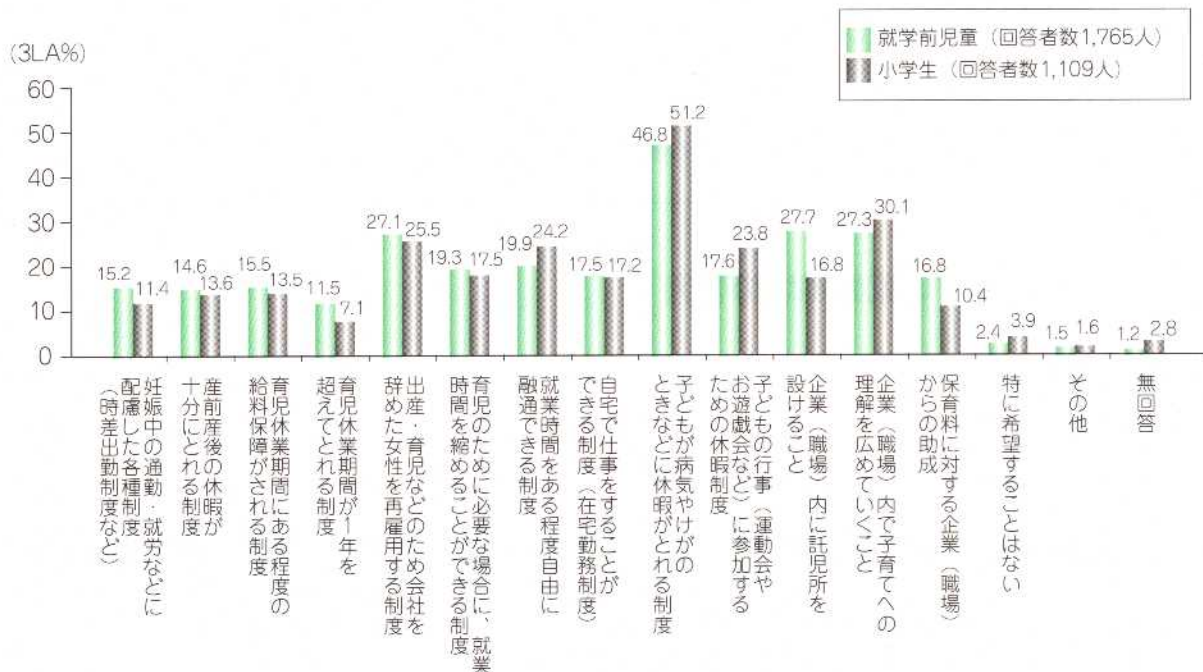
図表4-2-56 性、就業形態、1週間の残業時間別労働者割合及び平均残業時間

	100%	残業をしていない	残業をした	残業をした						平均残業時間	不明
				1～2時間	3～4時間	5～6時間	7～10時間	11～19時間	20時間以上		
総計	100%	40.0%	53.3%	9.6%	7.7%	9.4%	13.2%	8.5%	4.9%	8.5時間	6.7%
正社員	100%	32.8%	61.6%	9.2%	8.4%	11.3%	16.1%	10.8%	5.7%	8.9時間	5.6%
非正社員	100%	53.9%	37.2%	10.3%	6.3%	5.7%	7.6%	4.0%	3.3%	7.1時間	8.9%
男性	100%	34.2%	60.1%	5.9%	8.1%	10.4%	17.8%	11.4%	6.5%	9.8時間	5.7%
正社員	100%	31.3%	63.7%	5.2%	5.8%	11.0%	19.5%	12.6%	6.8%	10.0時間	5.0%
非正社員	100%	46.7%	44.7%	9.0%	6.0%	7.8%	10.3%	6.4%	5.2%	8.4時間	8.6%
女性	100%	46.0%	46.3%	13.3%	7.3%	8.4%	8.5%	5.5%	3.2%	6.8時間	7.7%
正社員	100%	35.3%	58.1%	15.9%	8.3%	11.8%	10.4%	7.8%	3.9%	6.9時間	6.6%
非正社員	100%	56.7%	34.3%	10.8%	6.3%	4.9%	6.6%	3.2%	2.5%	6.5時間	9.0%

資料：厚生労働省「雇用構造調査(平成15年)」

注：平均残業時間は「残業した」人の平均時間

図表4-2-57 企業（職場）の環境整備として望むこと



資料：府中市子育て支援に関する市民意向調査(平成16年1月)

注：3LA%：回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

(1) 男女の協力による子育ての推進

施策の方向

父親と母親とが互いに協力して子育てを行うように、父親も参加する講座等を実施します。また、女性センターにおいて、男女共同参画の啓発と情報提供を行います。

施策・事業名	内容	区分	現状及び目標
子育て講座 (再掲)	子ども家庭支援センター「たち」において、出産・育児の不安解消や親同士の交流のための子育て講座を行います。また、父親・両親向けの講座を行い、父親の育児参加を促進します。	新規	(目標) 月 1 回
子育てひろば「ポップコーンパパ」 (再掲)	市立保育所を日曜日に開放し、地域の親子がふれあう場を提供するとともに、保育士などが子育て中の父親に遊び方の指導や子育て相談を行います。	継続	(現状:H16) 市立保育所 15 か所 月 1 回
はじめてのパパママ学級 (再掲)	グループワークを通じて妊娠、出産及び子育てに関する知識を提供します。また、親同士の交流や仲間づくりを通して、子育て不安を解消する機会を提供します。	継続	(現状:H16) 4 日コース 12 回 半日コース 12 回
女性センターにおける講演・講座	女性問題についての理解や女性の経済的・社会的自立を図るため講座等を開催し、市民の自己啓発を支援します。さらに、男女平等の視点から、様々な普及啓発活動を実施します。	継続	(現状:H15 実績) 26 講座
女性センターにおける情報提供	男女共同参画意識の啓発事業の一環として、市民の自己啓発、自主研究、実践活動を支援し、女性センターの総合的運営及び機能の充実を図るために、男女平等や女性問題に関する多くの情報を収集・整理し、提供します。	継続	(現状:H15 実績) 蔵書数 9,651 点

(2) 子育てしやすい就業環境の啓発

施策の方向

女性の就業機会の拡大や出産後の円滑な職場復帰、父母ともに子どもとゆっくり過ごせる時間の確保など、就業環境の改善を事業主（企業等）に働きかけます。

施策・事業名	内容	区分	現状及び目標
子育てしやすい就業環境の啓発	商工会議所等と連携して、女性の就業機会の拡大や出産後の円滑な職場復帰、父母ともに子どもとゆっくり過ごせる時間の確保など、就業環境の改善を事業主（企業等）に働きかけます。また、次世代育成支援のための国等の助成・支援制度の情報提供を行います。	重点	(目標) 啓発事業 情報提供